

平成13年7月(2001年)No. 427

暑い季節ですが 皆さんお元気ですか

今年は梅雨明け宣言もまだ聞きませんが、特に暑いように思います。皆さんお変わりありませんか。暑い夏をテーマに撮影に行かれる方、山や海のレジャーを楽しむ方も居られるでしょうが、クーラーの効いた部屋で、普段撮り溜めしたテープを、どうまとめたらいいか構想を練ったりするのもよいですね。近頃ではノンリニア編集にのめり込んでおられる方も多いのではないかと思います。例会作品もノンリニア作品花盛りです。

今秋の発表映写会へ向け、そろそろ作品構想にとりかかれては如何でしょうか。目標を定めると、制作意欲も湧いてくるものです。OMCには作品研究会も開催していますので、大いに活用してください。

7月例会のお知らせ

7月例会は28日(第4土曜日)午後6時より、阿倍野市民学習センター(あべのベルタ3階)で開催します。暑い盛りですが、会場は冷房が効いていて、しばし避暑気分で居られます。どうぞ作品ともども皆様のお越しをお待ちしております。

予告その1: 原則として偶数月に作品研修会を開催しておりますが、8月は暑い盛りですので昼間の開催は見合わせ、9月に行います。そろそろフェスティバル作品制作にも着手しておられる頃と思いますので、大いに研究会の場を活用して頂きます。

予告その2: 10月例会は第4土曜日が阿部野市民学習センターの「あべの・オータム・フェスティバル」と重なり、会場を貸してくれませんので止む得ず1週間繰り上げて第3土曜日(10月20日)に、研究会ともども例会を行いますのでご承知おきください。

予告その3: 12月例会は、例年ですと第4土曜日だと暮れも押し迫っていますので、第3土曜日に繰り上げていましたが、今年は第4土曜日といっても22日ですので、繰り上げせずに、通常どおり第4土曜日とします。

■**新入会者紹介:** 片山尚子さん 〒574-0026 大東市住道 2-7-7 TEL 072-872-0790 元・映像集団「地下街」の会員だった方で、どちらかといえば、抽象作品などの分野がお得意のベテラン作家です。期待しております。どうぞよろしくお願ひします。

6月作品研究会のレポート

今月は2ヶ月ぶりに一般作品による作品研究会で、9名の参加8本の出品があり、時間をかけて作品研究会らしい雰囲気で行われました。

■上映作品

1. **ちんちん電車：安居氏、9分45秒。** 昨年11月例会で「ちんちん電車は行く」という作品を発表されていますが、作品を作り直したとして再度持参された作品。作品のねらいをバリヤフリーの考えなどに絞って考えれば、まだ余分のカットが目立つことや、云いたいことの映像表現が足りないなどの手直し箇所がありそう、ということでよき研究材料になりました。

2. **私の眼：安居良枝さん、8分05秒。** OVCの「春」というテーマの課題コンテストで優秀賞を受賞された作品の改訂版。ご自身の白内障の手術体験を作品にされたもので大変な努力作です。この作品も作品のねらいをもっと明確にし、甦った鮮明な世界への喜びを強調してみてもどうか等、研究会らしい意見の交換があった。

3. **ZOOシリーズ(3)ペンギン：増池氏、4分50秒。** 動物園へ通われてペンギンのいろいろの表情をうまくとらえられていました。ここでテロップの文章の書き方について助言がありました。

4. **水郷柳川：前田氏、11分50秒。** 前月コンテストで入賞された作品の再上映で、作品の趣旨が”水郷柳川”であれば、水上パレードが長すぎるし、もっと短く整理できるのでは等の細かい意見の交換があり、研究会としてよい材料提供になりました。

5. **富士旅愁：関 剛氏、5分。** パソコン編集に取り組まれるようになって、これは又全編OL。ドボルザークの「家路」のBGMに合わせて編集されているが、画面が3～4秒毎に替わるので”せわしない”との声も。

6. **水郷柳川雛祭り：奥氏、10分。** これも前月公開コンテストで発表された撮影会作品。子供のナレーションですが、文章が大人の言葉なので若干違和感も。現録の活かし方等について細かいアドバイスがありました。

7. **柳川の雛祭り：合原氏、11分53秒。** 前月の公開コンテストに辞退され、この研究会で初上映された作品。太鼓の現録は不要ではないかという声が多くありました。確かに雛祭りとは太鼓は不似合いかも知れません。

8. **東海道の暴れん坊：合原氏、9分25秒。** 映像作家連京都総会後の撮影会作品で、太秦の本職の役者さん達の迫力ある演技はさすがプロ。同録なので編集が難しかったことと撮影の注意点など課題多しとは作者の弁。

■玄光社の著作権フリーBGMの紹介とデモ上映。

6月例会のレポート

研究会に引き続き23日18時より開催。司会：安居氏、書記：合原氏、デッキ係に奥氏、渡辺氏、受付：増池氏の担当で進行しました。

出席者：今井、江村、奥、金子、河合、合原、片山（新入会）、前田、増池、関、安居夫妻、森口、森下、森田、森、吉岡、藤原、宮崎、華岡、那須、松本、中尾、渡辺の以上24名（敬称略）

■上映作品

1. **明石漁港** 関 剛さん 7分00秒

高槻映像クラブ撮影会作品。ノンリニア第2作目とか。平日だから活気ある魚市場の様子をアップUPでダイナミックに描写されているところ等なかなかの圧巻。大変参考になる作品でした。

2. 清荒神(きよしこうじん) 増池 茂さん 6分30秒
 人出の多い正月に撮られた作品。スケッチ風に撮ったと作者の弁でしたが、なかなか丁寧に撮られておりお正月の荒神さんらしい雰囲気をかもし出していました。
3. 追憶の故郷は今 合原一夫さん 12分35秒
 小説「廃市」のモデルとなった柳川は、わが故郷。子供のころの柳川を追想しながら、かつて「廃市」と名指しされた柳川が、観光都市としての発展ぶりに感激もひとしおです。撮影会での映像を基本に撮り足してまとめられた作品です。
4. 紅の闇 片山尚子さん 5分00秒
 新入会者としてOMC初めての作品で、いわばイメージ映像のジャンルに入るのでしょうか。椿の花、人形、雪をモチーフに構成されたもので、理屈ではなく感性で鑑賞すべき作品です。新しいジャンルの方の入会は、OMCの作品の幅を広げるものと、今後のご活躍を期待します。
5. さくら 江村一郎さん 4分15秒
 ノンリニア2作目で、OLの連続。今までのカットつなぎの江村さんらしい歯切れの良い作風とは違ったイメージですが、ノンリニアのせいでしょうか、OLは作品のキレを悪くするので、記録物などには多用しないほうがよいと、アドバイスがありました。
6. カルガモの詩 安居良枝さん 3分40秒
 東大阪の浄水場には、毎年子育てのためカルガモが飛来するそうです。ホフマンの舟歌の曲に合わせて作ってみましたと作者。BGMを先に録音して映像を後から入れられたそうです。気楽にまとめられた楽しい作品。
7. 保津川下り 安居利次さん 7分45秒
 作家連京都総会後の撮影会作品で、地上から川下りの舟を京都映像の人達が撮影した画面をうまく挿入して作品にまとめられました。保津川下りの歴史を語るなど、深みのある作品になっていました。
8. 湖国の魚たちを守ろう 森口吉正さん 9分00秒
 ブラックバスやブルーギルなど外来種が増え、在来種のタナゴやギンブナ等がすっかりなくなった琵琶湖の現状を少しでも救おうと、ボランティアの人達が外来種を釣り上げて駆除作戦に取り組む様子を描いた社会派作品。問題提起の作品ですが、圧力団体もあって難しいようです。深く掘り下げれば良い作品になるでしょうが、取材が困難かもしれませんね。
9. ネパールの寺院を訪ねて 吉岡貞夫さん 10分30秒
 吉岡さんもノンリニアを始められ、これが3作目だそうです。日の出シーンから始まり、ネパールの異国情緒たっぷりの画面が続きます。ケーブルカーに乗るのに現地の方は百円以下なのに外国人は千円以上もとられるなどのエピソードも紹介され関心を引きました。
10. タイ航空機爆発! 河合源七郎さん 4分05秒
 貴重な映像です。たまたま離陸前の飛行機に乗っておられて、タイ航空機が炎上する様子を撮影されており、生々しい映像にすっかり惹きつけられてしまいました。オリジナルテープは日本大使館を通じて現地へ提供され、感謝状が来たということです。
11. 東海道の暴れん坊 藤原純三さん 10分30秒
 作家連京都総会後の撮影会作品で、太秦の本物の役者たちの立ち回りを業務用カメラと指向性マイクを使って的確に撮影され、切れのよい編集タッチと効果音(刃と刃とがふれ合う音をテレビの時代劇より録音して使用)とが相まって、さながらテレビ時代劇を見る様な作品に仕上げられており感心いたしました。一部のスローモーション描写も良かったと思います。

12. 夏・北海道

那須典彦さん

7分05秒

ノンリニアの練習として編集したとまずは作者の弁。OLの多用と多彩な画面転換で富良野や美瑛あたりの風景を描いてくれます。那須さんのノンリニアへのご熱心で、どうやら操作も慣れてこられたようです。

以上で作品上映会も終わり、9時前二次会場へとそれぞれ散会しました。

■インターネット情報

このところ毎月のように高速インターネット（ブロードバンド）について書いていますが、情勢が目まぐるしく変わっています。一時期パソコンのモデルチェンジが頻繁に行われ、最新型を買っても2～3ヶ月もしないうちに旧型になったと嘆く人が多かったが、ブロードバンド業界の変遷も相当に激しいようです。高速インターネットは昨年までは、CATVの独断場、今年になってADSLが急速に普及しつつあり、ADSL接続業者が潤っているかと思いきや、ADSLの草分け的先発業者東京めたりっくがソフトバンクに吸収合併されるというニュースが流れました（6/21日経朝刊）。何でも過大な設備投資が資金繰悪化を来し経営危機に墜ち至ったのだという。兄弟会社の大阪めたりっくの動向は伺い知れないが、通信業界で一番ホットなADSL業者が危機に至ったというニュースは衝撃的でした。

一方6/20日経朝刊では、ヤフーが月2280円（NTTのほぼ半額）でADSL事業に参入するというニュースも伝わってくる。値段の安さもさることながら、一番驚いたのは最大毎秒8メガビットという超高速さである。東京めたりっく系、NTT、イー・アクセス等の先発は1.5～1.6メガビットであったことから、ADSLとはその位のスピードかなと思っていた。しかしヤフーは先行各社とは違う設備によって可能になったと説明している。これが事実としたら、すごい技術だと思われます。

NTTがADSLの次に本命として打ち出している光ケーブルも10メガビットの速度であるから、銅線（ADSLは普通の電話線を利用）が光ファイバーに近付くという素晴らしいことになる。実際に運用が始まってみないことには実効速度は判らないと思うが、話半分聞いても凄いスピードには違いないと思われます。

また無線方式（1.5メガビット）も東京で実施されているようで、ブロードバンド元年といわれる2001年は楽しみが多い年になった。さらに、電話線も光ケーブルも、無線も使わない「電力線ネット」なる方式が2002年には規格化されるそうである（5/27サンケイ朝刊）。この電力線ネットは、各家庭にある電力のコンセントに差し込むことでインターネット通信を行おうとする技術で、パソコンをコンセントに差し込むだけでインターネットが出来るといふ信じがたい技術で、「事業化はまだ白紙」と慎重に構えているが、2002年にどのような展開を見せるか待ち遠しいことです。

VIDEO 6月のインターネット研究会作品紹介

「ちんちん電車」安居利次作品（画像をクリックしてください、スタートします。）

No	Real Video5.0	for ISDN modem	32087KB 9分28秒
			